

野鳥を呼ぼう ー「バードサンクチュアリ」の作り方ー

庭に野鳥を呼んでみませんか。そのポイントは、冬の餌の少ない季節に実のなる木を植えることと、餌台を作ることです。一度、試してみてください。数種類の野鳥でしたら、すぐにやってきます。

■庭を「野鳥レストラン」にする

雪で餌が隠れてしまうと、餌不足になります。そこで、庭にレストランを作ってやると小鳥は大喜びです。

○野鳥レストランのポイント（図1、図2）

- ・ 高さは 1 m～1.5 m 低すぎると猫に襲われる
- ・ 屋根は 屋根がない方が野鳥は安心。でも雪や雨が多い福井では、餌持ちや雪かきの手間がかからない屋根付きが便利。雪が積もらないつり下げ式（バードフィーダーなど）も便利
- ・ 餌の種類は ヒエ、アワ、くず米やパンくず、ヒマワリ、麻の実、ミカン、リンゴ、カキ、脂身など
※餌の量は朝に1回、残らない程度の量がよい
※リンゴやミカンは半分に切って、庭木の枝に挿す
※脂身はネットや金網に入れ、木の幹に縛るか吊す
- ・ 置く場所は 近くに藪があると、猫に襲われやすくなるので、周りは開けている所がグッド
※窓から遠い所とすぐ近くの2箇所に餌台を置くと、慣れた鳥が目に来る
- ・ 気をつけることは 餌台は清潔にし、世話した後は、手洗いやうがいを欠かさない。鳥インフルエンザ情報に注意し、近くで発生した場合は給餌を中止する

図1 餌台

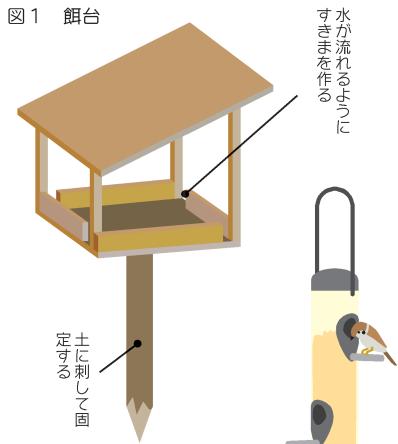


図2 バードフィーダー



■ホテル、喫茶店、お風呂も作る

- ・ 秋から冬、葉の混んだ常緑樹は、ホテル（ねぐら）になります（写真1）
- ・ 水の少ない時期には、水場があると、水を飲んだり水浴びに利用します（図3）

■子育ての環境を整える

○ツバメを呼ぼう

- ・ 巣台をヘビ、ネコ、カラスなどに狙われない所にかける

○巣箱の作り方

- ・ 木の穴などに巣をつくる野鳥は、巣箱を子育てやねぐらに利用します（図4）
- ・ 巣箱の設置や掃除は、冬前がベスト
- ・ 襲われにくい高さで、枝の近くを避け、雨や太陽光線が入りにくいように設置



写真1 剪定によって葉がこみ、ねぐらとなった常緑樹

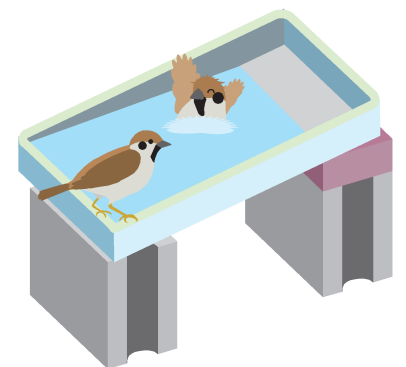
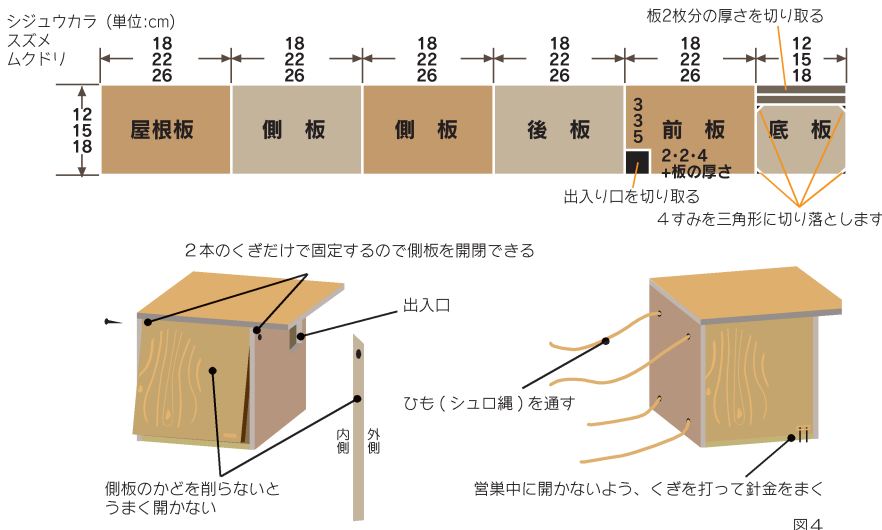


図3 バードバスはななめにすると好みの深さで利用できる